

学校評価から見えること（まとめ）

<保護者より> 総合評価 7.0 ⇒ 7.0 /10.0	【前期】	【後期】
◎保護者は、地域の子どもにも関心を持っている	83%	⇒ 90%
◎生徒は、学校や学級で好ましい人間関係を持っている	91%	⇒ 98%
◎教育目標や生活・学習への指導方針を承知している	90%	⇒ 96%
◎生徒は、目標を持って学校生活を送っている	73%	⇒ 87%
◎生徒は、心身共にたくましく育っている	79%	⇒ 96%
◎生徒は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる	52%	⇒ 71%
◎学校は、子どもの学力や学校の様子を伝えようとしている	83%	⇒ 92%

<生徒より> 総合評価 7.9 ⇒ 7.8 /10.0	【前期】	【後期】
◎自分は、明るく過ごしている	60%	⇒ 96%
◎家族でPCやSNSなどの使い方・ルールを決めている	64%	⇒ 90%
◎PCやSNSなどの使用時間は正しく利用できている	72%	⇒ 88%
◎自分は、心身ともにたくましく育っている	84%	⇒ 92%
△どの先生も同じ方針で決まりなどの指導ができています	88%	⇒ 76%
△自分は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる	70%	⇒ 66%
△学校の授業は理解できる	94%	⇒ 86%

総合評価

保護者においては、全ての項目で評価が上がる結果となった。特に、生徒の様子の項目において充実した学校生活を送り、たくましく成長していると感じられている保護者が多いことは喜ばしいことである。その反面、生徒においては、自分自身の項目で自分を律することに課題を感じて評価を下げているところが見受けられる。特に、気になるところでは、「自分には、夢中になれるものがある」の質問に対して、<そう思う>76%から58%に評価が下がっている。また、自分は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる割合が低い評価も気になるところである。

課題解決に向けて

- 1 家庭学習への取組意識への課題が残っている。授業者の家庭学習への関わりや課題の内容、出し方について、研修会を開催し、自ら進んで学習しようとする態度の育成を目指していく。
- 2 充実した学校生活を送っていることは結果からも分かるが、教育活動全体を通じて、自分の夢や志を抱き、語り合える環境の学校づくりを教職員一丸となって取り組んでいく。
- 3 SNSやPCの利用について、家庭と協力して正しい利用法について、機会があるごとに伝えていく必要があり、授業等でも取り扱っていく。さらに、普段の生活の中でも話題にしていきたい。保護者には、PTA講演会やPR紙、学校だよりなどで伝えていく。
- 4 職員に改めて、アンケート結果を示し、生徒を公平に評価していくこと、同じ方向で生徒に対応していくことについて共通理解を図っていく。また、生徒たちの繊細な心に触れる関わりのおおきさについて周知徹底を図り、寄り添う姿勢を大切にしていく。また、毎週の振り返りアンケートやデイリーノートなどにより、常にチェックをしていく。
- 5 今後も学校で取り組んでいることを広く周知を図っていきたい。また、コミュニティ・スクールとして、いろいろな機会を捉えて外部の声が学校に届くよう努めていきたい。